

取り扱う仮想通貨の概要

No.	記載すべき項目			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	
	大項目	中項目	小項目							
1	仮想通貨の概要	名称（略称）	仮想通貨の名称並びに略称を記載	ビットコイン	モナコイン	フィスコイン	カイカコイン	ネクスコイン	ビットコインキャッシュ *	
		通貨単位名称	通貨単位で利用する名称を記載	BTC	MONA	FSCC	CICC	NCXC	BCH	
		最低取引単位	取引単位の最低数量を数値で記載	0.0001BTC	1MONA	0.0001FSCC	0.0001CICC	0.0001NCXC	0.0001BCH	
		決済性：代価の弁済のために不特定の者に対して使用することができる（1号仮想通貨との交換で代替可）	仮想通貨で支払う事が可能な店舗	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し
			その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		売買可能性：不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる事（1号仮想通貨との交換で代替可）	売買可能な法定通貨の種類	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ	当取引所において売買可能な法定通貨は日本円（JPY）のみ
			売買市場の有無	当取引所を含め複数の取引市場が存在している	当取引所を含め複数の取引市場が存在している	当取引所のほかにテックビューロ株式会社運営しているZaif取引所において売買取引が可能。	当取引所のほかにテックビューロ株式会社運営しているZaif取引所において売買取引が可能。	当取引所のほかにテックビューロ株式会社運営しているZaif取引所において売買取引が可能。	当取引所のほかにテックビューロ株式会社運営しているZaif取引所において売買取引が可能。	当取引所を含め複数の取引市場が存在している
			売買可能な最小数量	0.0001BTC	1MONA	0.0001FSCC	0.0001CICC	0.0001NCXC	0.0001BCH	
			認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。	ブロックチェーンのデータベースをネットワーク参加者全員（全ノード）が同一コピーを保持し、新たな記録が追加される度に全ノードのコピーが更新される仕組み。	ビットコインと同じ（ビットコインのマイナーによるブルーフオブワークによって価値移転認証が行われる）	ビットコインと同じ（ビットコインのマイナーによるブルーフオブワークによって価値移転認証が行われる）	ビットコインと同じ（ビットコインのマイナーによるブルーフオブワークによって価値移転認証が行われる）	ビットコインと同じ（ビットコインのマイナーによるブルーフオブワークによって価値移転認証が行われる）	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
			「プリペイドカード」やポイント・サービスにおける「ポイント」に該当しない事	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
			その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		交換可能性：不特定の者を相手方として相互に交換を行うことができる（1号仮想通貨との交換で代替可）	交換可能な仮想通貨の種類／名称	当社においては仮想通貨（モナコイン、ビットコインキャッシュ、フィスコイン、カイカコイン、ネクスコイン）との交換市場が存在	当社においては1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在	1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在	1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在	1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在	1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在	当社においては1号仮想通貨（ビットコイン）との交換市場が存在
			その他、制限事項等	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		ネットワーク上での移転可否	パブリック／プライベートネットワークを利用した移転が可能である事	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可
		通貨建て資産の適用有無	通貨建て資産ではない事	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし
		形式	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型
			プライベート型							
			コンソーシアム型							
		機能性	通貨以外の機能がある場合には、その詳細内容	該当なし	該当なし	ビットコイン	ビットコイン	ビットコイン	ビットコイン	該当なし

取り扱う仮想通貨の概要

No.	記載すべき項目			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
	大項目	中項目	小項目						
	適切性	販売方法等	【簡単売買】他の仮想通貨取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【簡単売買】他の仮想通貨取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品をフィスココイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品をカイクコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品をネクスコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品をネクスコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出
		発行者の有無（ある場合に記載）	発行する事業者の開示情報 発行する事業者の信用情報	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行者：株式会社フィスコ (JASDAQ:3807) プロトコル：カウンターパーティー 発行枚数：5000万FSCC（ロック済み）	発行者：株式会社カイク (JASDAQ:2315) プロトコル：カウンターパーティー 発行枚数：3億CICC（ロック済み）	発行者：株式会社ネクスグループ (JASDAQ:6634) プロトコル：カウンターパーティー 発行枚数：2000万NCXC（ロック済み）	発行事業者は無し
2	想定される用途	仮想通貨を利用する際のサービス等	利用用途	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスとの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスとの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスとの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能
3	流通状況	総発行量	直近での総発行量	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：約1640万BTC ・発行可能上限：約2100万BTC ・単元当たりの価値：約30万円 ・市場での時価総額：約4.9兆円 ・海外での流通状況：50箇所以上 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：約5145万MONA ・発行可能上限：約1億512万MONA ・単元当たりの価値：77円 ・市場での時価総額：約40億円 ・海外での流通状況：1箇所以上 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：5000万FSCC ・発行可能上限：5000万FSCC ・単元当たりの価値：36.9円 ・市場での時価総額：約18.4億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：3億CICC ・発行可能上限：3億CICC ・単元当たりの価値：14円 ・市場での時価総額：約42億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：2000万NCXC ・発行可能上限：2000万NCXC ・単元当たりの価値：288.9円 ・市場での時価総額：約57.7億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/8/13時点) ・直近総発行量：約1648万BCH ・発行可能上限：約2100万BCH ・単元当たりの価値：約3.6万円 ・市場での時価総額：約5500億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明
		発行可能上限数量	発行が可能な数量の上限						
		一単元あたりの価値	直近での一単元あたりの価値						
		市場での時価総額（円貨）	直近での時価総額						
		海外での流通状況	海外の取引所で扱われている場合には、その状況等						
		主要な保有の状況	直近でのアドレス別大量保有一覧（上位20） 直近での総口座数（確認可能な場合）						
4	プログラムの内在リスク等	過去に発生した不具合情報	・多数の記録者が結託し、あるいは既存の記録者が有する処理能力合計よりも強力な能力を用いることにより、記録台帳が改竄され、また発行プログラムが改変されるリスクがある。 ・第三者に秘密鍵（暗号鍵）を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示が行われるリスクがある。 ・ハードフォークにより分岐したブロックの一方が否決された場合、否決されたブロックに収録された取引は再び認証を得なければ、次の送金が行えなくなるリスクがある。さらに、記録者の目に留まらず、未承認データのまま放置されるリスクがある。	当社において現時点では確認できず	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカラードコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティーのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのフィスココイン自体がその影響を受け、その結果、当該フィスココインが存立しなくなるリスクや、フィスココインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティーのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である（流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。）。	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカラードコインサービスにおいてカイクコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティーのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのフィスココイン自体がその影響を受け、その結果、当該カイクコインが存立しなくなるリスクや、カイクコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティーのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である（流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。）。	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカラードコインサービスにおいてネクスコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティーのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのネクスコイン自体がその影響を受け、その結果、当該ネクスコインが存立しなくなるリスクや、ネクスコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティーのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である（流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。）。	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカラードコインサービスにおいてネクスコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティーのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのネクスコイン自体がその影響を受け、その結果、当該ネクスコインが存立しなくなるリスクや、ネクスコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティーのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である（流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。）。	
		不具合情報	・未検出のプログラムの脆弱性やプログラム更新などにより新たに生じた脆弱性を利用し、データが改竄され、また価値移転の記録が異常な状態に陥る可能性がある。 ・Mt. Goxというビットコインを取り扱っていた取引所（交換所）がハッキング被害を受け、ビットコインやユーザー情報・パスワードが盗難され約1週間取引が停止されたという事件が生じている。この影響で、連鎖的に他の取引所からもビットコインの盗難が発生し、ビットコイン価格が著しく下落したことがある。今後同様の事件が生じ、それによりビットコインが盗難され、又はその価格が著しく下落するリスクがある。						・ビットコインブロックチェーンから分裂した新たなブロックチェーン上のトークンであるため、左記のビットコインのリスクが妥当する。

取り扱う仮想通貨の概要

No.	記載すべき項目			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
	大項目	中項目	小項目						
		非互換性のアップデート (予定) 情報 (ハードフォーク/ソフトフォーク)	<p>過去のアップデート履歴</p> <p>2013年3月11日にビットコインのバージョン0.8.0のバグにより、実質的に初めてブロックチェーンの分岐(ハードフォーク)が発生した。この問題は0.8.1へのバージョンアップによりすぐに修正された。</p> <p>2017年8月1日にビットコインブロックチェーンから分裂した新たなブロックチェーン上のトークン(Bitcoin Cash) が生まれている。</p>	<p>2017年4月にSegregated Witness (Segwit) を採用するブロックチェーン上の可決が行われ、有効化されている。</p>	<p>・フィスコインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの帰趨に影響を及ぼさないものと考えられている。</p>	<p>・カイカインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの帰趨に影響を及ぼさないものと考えられている。</p>	<p>・ネクスコインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの帰趨に影響を及ぼさないものと考えられている。</p>	<p>・ビットコインにおける記載を参照のこと。</p>	

* ビットコインキャッシュは、平成29年9月中に取引開始予定です。